

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【技術・家庭(技術分野)】

項目	書名 新編 新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、学習の目標を明確に示し、習得状況を確認しながら実践的・体験的な学習活動を進める構成になっている。 ○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、具体的な学習課題を示し、課題解決に向けて見通しを立てながら学習に取り組むようになっている。 ○進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるために、環境や伝統・文化などの今日的な課題に関する学習課題や実習例を取り上げている。
特 色 内 容	<b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○学習のまとめりごとに、学習の「目標」とともに「始めの活動」と「まとめの活動」を配置し、学習の見通しを立てたり学習の習得状況を確認したりしながら学ぶようになっている。 ○実習に必要な加工方法や作業工程が「基礎技能ページ」にまとめて掲載されている。 <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○課題発見から解決にいたるまでの学習の進め方や留意事項が、繰り返し説明されている。生徒が見通しをもって、問題を解決する学習を進めるようになっている。 ○「ものづくりの手順」の欄を設け、学習の進め方や留意事項が説明されている。 ○実習例内に「私の工夫」を設け、少しの工夫で新しいアイデアとなることを知らせ、生徒が工夫・創造する学習が進められるようになっている。 <b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○生徒が主体的に学習を進められるように「調べてみよう」「考えてみよう」という欄を設けている。 ○各節の導入には「はじめの活動」を設け、学習を深めるための「技術のとびら」や「発展」という欄が設けられている。 ○実習例では「問題の発見」から、実習を通して問題解決できるようにしている。 <b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b> ○実験や体験などの活動を通して、学習を進めるように「実験」「観察」などのマークを設けている。基礎的な実習から発展的な様々な実習例を難易度で示し紹介している。 ○実習中の安全な作業の方法や事故防止の注意事項について「安全」「衛生」マークを設け、更に巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう！」にて安全な作業となるよう注意喚起している。 ○技術に関わる倫理観への配慮の項目には「情報モラル」「技術の天びん」マークで示している。 <b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b> ○写真やイラストを使い、持続可能な社会のイメージや実現に向けての取り組み例などを示している。環境保全に関わる記述部分は「環境」マークで示している。 ○各編に評価・活用の章を設け、技術を評価し活用するための学習活動に取り組むようになっている。評価・活用に関わる記述部分は「技術の天びん」マークで示し、意欲を高めるようにしている。
資 料	○多様な指導計画に対応できるよう、写真や図、イラストなどの資料を掲載している。 ○様々なマークを用いて、学習を深めたり、関連を調べたり、振り返ったり、新たな課題を考えたりする際に参考として使えるようになっている。また、学習を生かすため「防災手帳」が付録されている。 ○技術の基礎知識習得のため、ページ下段に「ひとくち」Q&Aを設けてある。
表 記 ・ 表 現	○教科書の大きさが、A B版見開きで見やすいように工夫されている。 ○「リンク」「他教科」「小学校」マークを用い、家庭分野や他教科、小学校とも関連付けて学習できるようになっている。編の文字囲みを色分けし、爪見出しで編と章の数字を色で囲み、学習内容の違いが分かるようになっている。 ○書体はユニバーサルデザインフォントで統一され、題材名や資料部分はゴシック体、内容は明朝体となっている。重要語句は太文字で表記されている。
総 括	学習内容ごとに「始めの活動」から「まとめの活動」までがひとまとまりとして構成されている。学習の流れを示し、生徒が見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を重視している。安全な作業に関わる内容が、巻頭と各作業場面に関連付けて示されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【技術・家庭(技術分野)】

項目	書名 新技術・家庭 技術分野 ( 教育図書 )
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、製作題材を数多く取り上げ、生徒の興味・関心などに応じた学習活動を進める構成になっている。 ○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、実践的・体験的学習を通して、話し合ったり考えたりしながら学習に取り組むようになっている。 ○進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるために、環境や伝統、生命尊重などの今日的な課題に関する学習課題や実習例を取り上げている。
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○学習のまとめりに「学習の目標」「まとめ」「章末問題」を配置し、学習の状況を確認しながら学ぶようになっている。 ○実習に必要な加工方法や作業工程が、写真やイラスト、図を用いて掲載され、「基礎技能」「基礎技能・知識」マークを用いて技術の習得や機器の安全な利用方法を学びながら学習を進められるようになっている。 ○実習の工程を把握できるように、ページ上段に流れが示されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○多くの実験・実習の例が説明されている。学習活動に際し、話し合ったり考えたりする場面を設定し、問題を解決する学習を進めるようになっている。 ○実験の例が示され、生徒が問題解決する学習を進められるようになっている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○生徒が興味・関心などに応じた学習を進めるように「調べよう」「やってみよう」「考えよう」という欄が設けられている。 ○学習を深めるための「発展」という欄を設けている。 ○作業している場面の写真やイラストと解説により、実際の作業様子がわかるようになっている。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b> ○実験や体験などの活動を通して、学習を進めるように「実験」「実習」「考えよう」「調べよう」などのマークを設けている。様々な実験や実習例を紹介している。 ○実習題材を多く取り上げる中で、実習中の事故防止の注意事項や作業を行うポイントに「注意」「安全」マークを示して留意事項に気付かせるようになっている。 ○技術に関わる倫理観について、配慮事項を示している。</p> <p><b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b> ○写真やイラストを使い、持続可能な社会への取り組み、資源の再利用などについて示し、環境保全に関わる内容もデータで示している。 ○各章に評価・活用のページを設け、技術を評価し活用するための学習活動に取り組むようになっている。評価・活用に関わる記述部分は「考えよう」「調べよう」マークで示し、意欲を高めるようにしている。</p>
総括	○多様な指導計画に対応できるよう、写真や図、イラストなどの資料を掲載している。 ○「発展」マークを用い、それぞれの興味にあわせて取り組むことができる内容である。 ○「関連学習」マークを用いて、小学校での学習事項や他教科との関連を考えながら学習に取り組むようになっている。
資料	○内容ごとに色分けし、爪見出しで章の数字を色で囲むとともに、それぞれの内容に関する写真やイラストを配置し、学習内容の違いが分かるようになっている。 ○書体はユニバーサルデザインフォントで統一され、題材名や資料部分はゴシック体、内容は明朝体となっている。重要語句は太文字で表記されている。
表記・表現	○内容ごとに色分けし、爪見出しで章の数字を色で囲むとともに、それぞれの内容に関する写真やイラストを配置し、学習内容の違いが分かるようになっている。 ○書体はユニバーサルデザインフォントで統一され、題材名や資料部分はゴシック体、内容は明朝体となっている。重要語句は太文字で表記されている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【技術・家庭(技術分野)】

項目	書名 技術・家庭(技術分野)(開隆堂)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、学習の項目ごとに学習の目標を明確に示し、学習内容を振り返りながら学習活動を進める構成になっている。 ○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、具体的な課題を示し、解決に向けたプロセスを繰り返して学習に取り組むようになっている。 ○進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるために、環境や伝統文化、日本の技術などの今日的な課題に関する学習課題や実習例を取り上げている。	
特色	特 内 容	<b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b> ○学習のまとめりに「学習の目標」「学習の振り返り」を配置し、学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりしながら学ぶようになっている。 ○基礎的なことを身に付けるため「考えてみよう」「調べてみよう」などのマークや“?”を設け、考えたり調べたりするようになっている。実習の流れや手順などが図式化され、写真やイラストを用いて掲載されている。 <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b> ○学習の意欲付けや動機付けになるような学習課題を示している。生徒が自らの思考力を生かしながら主体的に、問題を解決する学習を進めるようになっている。 ○「探究」「豆知識」という欄を設け、問題解決的な学習が進められるようになっている。 <b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b> ○生徒が興味・関心等に応じた学習が進めるように「考えてみよう」「調べてみよう」という欄が設けられている。 ○学んだことを生活の場で活用するための具体例やヒントを「生活に生かそう」で示し、学習を深めるために「発展」を設けている。 <b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b> ○実験や体験等の活動を通して、学習を進めるように「実験」「考えてみよう」「調べてみよう」「思い出してみよう」「話し合ってみよう」などのマークを設けている。基本から応用まで様々な実験や実習例を紹介している。 ○実習中の安全な作業の方法や事故防止の注意事項について、ガイダンスのページや「安全」マークから留意事項に気付かせるようになっている。 ○技術に関わる倫理観への配慮の項目については「安全」マークで示している。 <b>&lt;技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成する工夫&gt;</b> ○循環型社会や持続可能な社会のイメージや実現に向けての取り組み例を示している。 ○各内容に評価・活用のページを設け、技術を評価し活用するための学習活動に取り組むようになっている。評価・活用に関わる記述部分は「環境」「参考」「探究」マークで示し、意欲を高めるようにしている。 ○情報モラルやセキュリティは、一ヶ所にまとめて整理され、「情報モラルリンク」マークで関連が分かるようにしている。
	資 料	○多様な指導計画に対応できるよう、写真や図表、イラスト、コラムなどの資料を掲載している。 ○様々なマークを用い、学習を深めたり、関連を調べたり、振り返ったり、新たな課題を考えたりするときの参考として利用できるようになっている。 ○各ページ下に「豆知識」を設け、興味をもって学習を深めたり課題を考えたりするようになっている。
	表 記 ・ 表 現	○「リンクマーク」を用い、家庭分野や他教科とも関連付けて学習できるようになっている。内容のまとめりに色分けし、爪見出しで内容に関連する写真やイラストを配置し、学習内容の違いがわかるようになっている。 ○書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一され、題材名や資料部分はゴシック体、内容は明朝体となっている。重要語句は太文字で表記されている。
総 括	学習内容ごとに「学習の目標」から「学習の振り返り」までがひとまとまりとして構成されている。学習の流れを示し、生徒が自分で課題を見つけて学び・考え、主体的に判断・行動し、問題を解決できるように構成され、反省・自己評価をして学習内容の定着が図れるようにしている。	